

有明優都戦略

7/14・15 荒尾の海岸を彩る絵を描こう
～海の美術館 壁画制作～



▶暑い中、楽しみながら絵筆を動かす海陽中美術部の皆さん。

増永海岸で、海の美術館の壁画制作は行われました。「海の美術館」は、地区の人たちにもっと海を身近に感じてもらおうと、海岸の堤防に壁画を設置しています。この取り組みは7回目を迎え、現在増永海岸と蔵満海岸に設置されている壁画は約140枚あります。今回は荒尾高校と荒尾海陽中学校の美術部も制作に携わりました。壁画を設置してから、不法投棄が減少したり、散歩をする人が増えてたりしました。海の美術館は、海岸の環境美化にも役立っています。

有明優都戦略

7/15 身近なメダカから環境を知って
～めだかの学校～



▶参加した人にメダカが配られました。学んだ飼育方も実践できます。

めだかの学校は二小元気会の主催で、メディア交流館で行われました。自然環境を考える取り組みとして毎年行われていて、地域の小学生などに参加を呼び掛けています。身近な生き物であるメダカの生態を学び、自然環境を大切にすることを目的としています。

二小元気会の会長である一二三宏さんが講師を務め、DVDやスライドを使って分かりやすく身近な生き物の生態や飼育方を説明。大人も子どもも楽しく学びました。

7/27 花いっぱい住みよいまちづくり
～アジサイ公園づくり～



▶アジサイの枝切り作業。来年きれいな花が咲くのが楽しみです。

荒尾市花いっぱい推進協議会、荒尾ライオンズクラブ、小岱作業所、地域の皆さんなどおよそ30人が参加して、荒尾市野球場東側の空き地1,800㎡の除草作業と、アジサイの挿し芽勉強会、アジサイの枝切りを行いました。この事業は暮らしのまちプロジェクトの一つで、定住しやすい環境づくりを目指し、自然と共生した美しい街並みづくりを協働で行うものです。

今後は花を増やし、市民の皆さんに楽しんでいただける場所にしていきます。

8/2 将来を見据えて医療現場を体験
～一日看護体験～



▶横になったままの患者さんのシーツを協力して交換しました。

市民病院で、高校生の一日看護体験が行われました。近隣の高等学校から男性7人女性8人が参加し、看護を体験しました。

玉名高校の木村朱里さん(南増永)、加賀田栞さん(大平町)、文徳高校の深浦知華さん(緑ヶ丘5丁目)、荒尾高校の藤田陽美さん(長洲町)は、将来医療現場で働きたいと参加しました。4人は病室で患者さんの手や足、髪を洗った後、シーツやまくらカバーを換える仕事を体験し、「想像以上に大変でした」と語りました。

7/4-21 ラグビーで荒尾を活気づけよう
～有明優都戦略 タグラグビー教室～



▶高校生の指導でどんどん上達。みんな笑顔でプレーを楽しみました。

7月4日～21日の毎週土曜日、計3回にわたって第12回タグラグビー教室を開催しました。この教室は、荒尾高校ラグビー部の部員と顧問が中心となって市内の小学生にタグラグビーを指導し、子どもたちの健全育成を図るとともにラグビーの知名度を上げる取り組みです。

毎回晴天に恵まれ、市内の各小学校からは30人以上の参加がありました。高校生と楽しくタグラグビーをする子どもたちには、笑顔が溢れていました。

7/22 もしもの津波に備えるために
～津波避難訓練～



▶有明小では避難するために介助が必要な人の避難訓練も行いました。

東日本大震災に学んで、「熊本県津波避難訓練実施支援モデル事業」として津波避難訓練を行い、沿岸部の住民と関係者合わせておよそ千人が参加しました。地域公民館の放送や防災サイレンで津波発生を知った参加者は、避難経路や危険箇所を確認しながら小学校などに開設した地区避難所に避難しました。

避難訓練終了後には、中央公民館で炊き出し訓練や災害パネル展、備蓄品展示、起震車での地震体験会が行われました。

8/2 身近な川の生物で水環境を調べる
～生物教室～



▶川底にはどんな生き物がいるのか興味津々。筆ですくとつまえます。

岩本橋付近の関川で開催している生物教室は、今年16回目を迎えました。荒尾市、南関町、大牟田市の児童27人が参加し、川に入って川底にすむトビケラなどの水生生物を捕まえました。その後、試薬や道具を使って水質を調べ、捕まえた水生生物を分類して川の汚れ具合を判定しました。今年は5段階中2番目の「親しめる水環境」で、昨年より良い結果になりました。参加者は「自由研究に役立ちます」「川をきれいにしようと思った」と感想を寄せました。

荒尾市制施行70周年記念事業

70文字の愛ことば

私が寝込んで居た時、貴方の誕生日でした。「五十四になりました。健康な体に産んで育ててくれてありがとうございます。」

え。今言つとかなないと思つたのかしら。ありがとうございます。

東京の次男へ

西田洋子さん(万田)

●70文字で、あなたの「愛ことば」を大切な人に伝えませんか。(ペンネームでもかまいません。応募する場合は、作品と一緒に本名・住所・年齢・電話番号を添えてください。掲載時にご連絡します。)

「応募先」〒864-8686 (住所不要) 荒尾市役所秘書広報課広報係 (FAX・メールでも可)

TEL 63・1157 FAX 63・1145 Eメール koch@city.arao.jp

この「70文字の愛ことば」は、応募いただいたことばを漢字表記も含めてできるかぎりそのまま掲載するようにしています。